

## 耐震診断・耐震改修等に係る補助制度一覧

※予算額に達し次第受付を終了しますのでご了承ください。

補助の種類	補助を受けられる主な条件	補助金の額
木造住宅 耐震診断	・昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅	・耐震診断費用の全額
木造住宅 耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震診断を受けた住宅</li> <li>・判定値を次のようにする改修工事 0.7未満 → 1.0以上 0.7以上1.0未満 → 0.3以上加算</li> </ul>	<u>一般診断法の場合</u> 耐震改修費の80%【上限120万円】 <u>精密診断法の場合</u> 耐震補強工事費の80%と 設計費の2/3の合算額【上限140万円】
木造住宅段階的 耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震診断を受け、判定値が0.4未満の住宅</li> <li>・判定値を次のように2段階で1.0以上にする改修工事 (1) 1段階目 0.4未満 → 0.7以上1.0未満 (2) 2段階目 1段階目を実施したもの → 1.0以上</li> </ul>	<u>一般診断法の場合</u> ・耐震改修費の80% (1) 1段階目【上限60万円】 (2) 2段階目【上限30万円】 <u>精密診断法の場合</u> 耐震補強工事費の80%と 設計費の2/3の合算額【上限70万円】
非木造住宅 耐震診断	・昭和56年5月31日以前に着工された非木造住宅	・戸建住宅…診断費用の3分の2 【上限9万円】 ・非戸建住宅…診断費用の3分の2
非木造住宅 耐震改修	・昭和56年5月31日以前に着工された非木造住宅	・耐震改修費の80% 【上限120万円】
木造住宅耐震 シェルター設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震診断を受け、判定値が0.4未満の建物</li> <li>・高齢者又は障がい者が住む世帯であること</li> </ul>	・耐震シェルター設置に要する費用 【上限30万円】
建築物撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震診断を行い、判定値が1.0未満の建物</li> <li>・建築士が実施した耐震診断でIs値0.6未満と診断された木造住宅以外の建物</li> <li>・老朽化が明らかで、応急危険度判定士が「危険」と判断したもの</li> </ul>	・建築物の撤去に要する費用 (1) 道路に面する建築物で倒壊時に道路をふさぐおそれのあるもの 【上限25万円】 (2) 上記以外の建築物 【上限20万円】
コンクリート ブロック塀等 撤去及び フェンス等設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆用道路に面するコンクリートブロック塀などを撤去する工事</li> <li>・道路から1.0m以上の高さのもの</li> <li>・コンクリートブロック塀などの撤去後に新たにフェンス等を設置する工事</li> </ul>	・コンクリートブロック塀などの撤去に要する費用または塀の長さ×1万円のいずれか少ない額の3分の2 (1) 指定道路に面する場合【上限12万円】 (2) その他の道路の場合【上限10万円】 ・フェンスなどの設置に要する費用またはフェンスの長さ×3万8千4百円のいずれか少ない額の3分の2 【上限20万円】